

# 一筋の軌跡を辿る

—ケーブルカーによる眺望建築—

5619064佐藤研究室 藤川敬祐





## 背景

### 日本の廃墟の現状

日本には数多くの建物があり使用されている。しかし、その中には使われず放置され廃墟となっている建物がある。かつて栄えていた観光地は時代とともに廃れ、人の出入りのない建物だけが残される。景勝地でありながら廃墟が混在している箇所があることが日本の観光地の現状となっている。香川県高松市の屋島はまさに景勝地と廃墟の両面がある場所である。

### 屋島（香川県高松市）

屋島はかつて島だったが埋め立てにより陸続きとなった。源平合戦の舞台としても有名である。四国遍路の第84番札所である屋島寺や、景勝地の獅子の霊巖がある屋島山上への唯一の足として1929年に屋島ケーブルカーが開業したが、32年後（1961年）に道路「屋島ドライブウェイ」が整備されたことによりケーブルカーの利用頻度が少なくなり廃業し駅舎、車体、線路が放置され廃墟となっている。道路の整備と1969年に屋島山上水族館が出来たことにより年間246万人もの観光客が訪れていた観光地だが、過去の産物である廃墟が景勝地の景観を損ねている現状となっている。

### 問題提起

景勝地にもかかわらず年々観光客の数は減少しており、今では年間約40万人まで少なくなっている。過去の賑わいを取り戻すためにどのような空間が必要となり、過去の産物である廃墟の再生や長時間滞在してもらえる空間を考える必要がある。

### 計画目的

当計画では、廃墟になり使われなくなった屋島ケーブルカーを再生させ屋島への交通手段を増やしアクセスを良くする。また、斜面の特性を生かした眺望建築を計画する。屋島の新たな観光場所を計画することで、屋島の魅力発信となり地域と廃墟の再生につながることを目的とする。

<https://www.pref.kagawa.lg.jp>

## 屋島の歴史

# 1185

源平合戦



那須与一の扇的

<https://www.my-kagawa.jp>

屋島ケーブルカー開業

# 1929

四国遍路が盛行市屋島寺が84番札所となる



開業当時の様子

<http://moving.la.coocan.jp>

# 1961

道路屋島ドライブウェイ整備

屋島寺本堂が国の重要文化財に指定される

屋島ケーブルカー廃止

# 2005

屋島山上水族館開業により246万人もの観光客が訪れる場所となる



ケーブルカー車体

(2022. 5. 15. 撮影)

# 2022

屋島ケーブルカー廃墟

現在では40万人まで少なくなっている



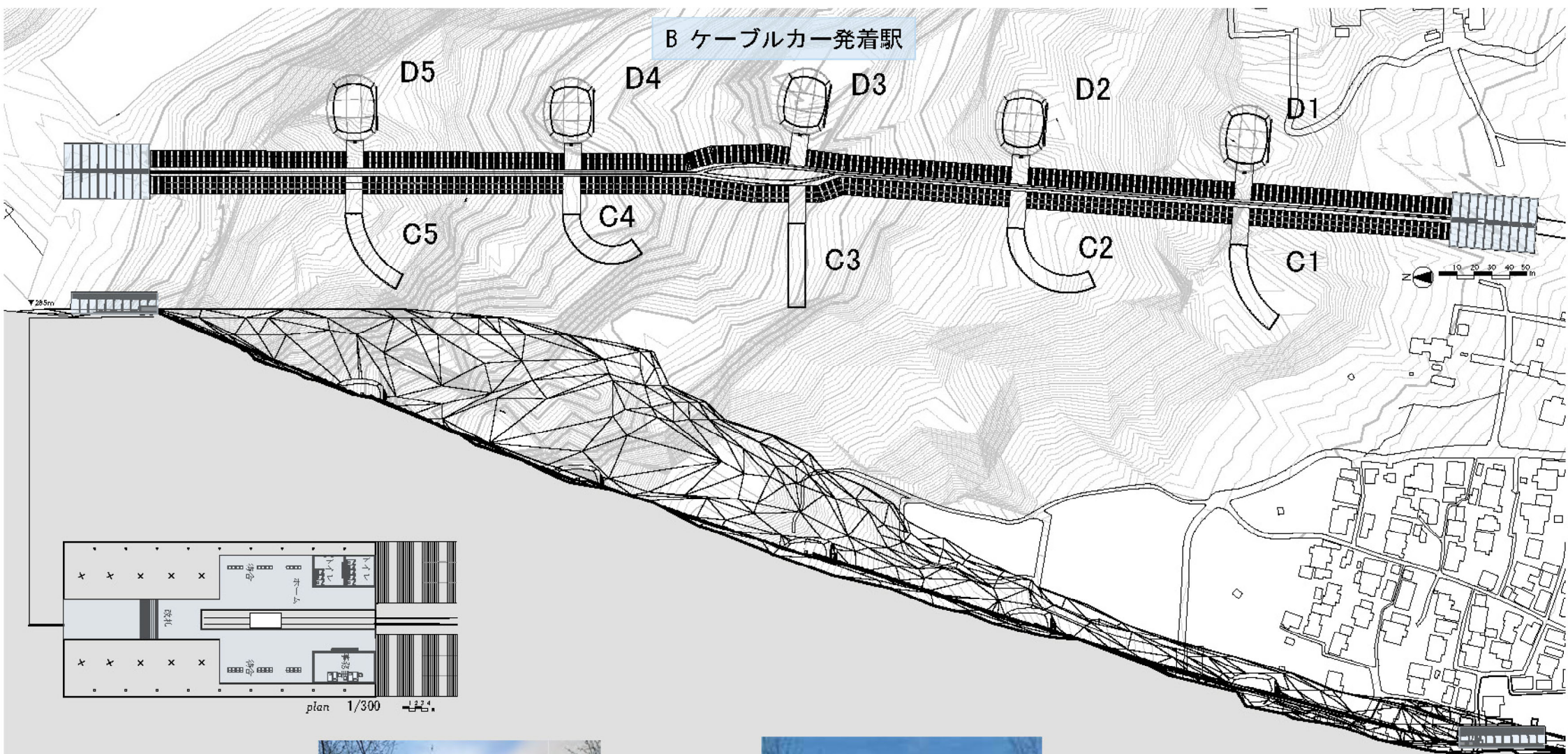
山上駅

(2022. 5. 15. 撮影)

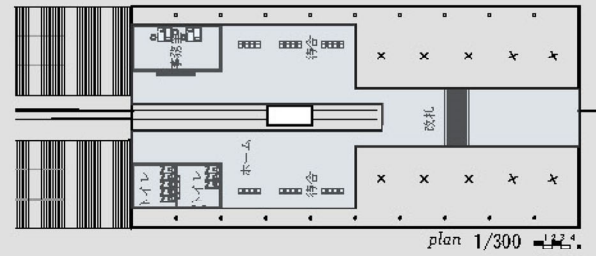




B ケーブルカー発着駅



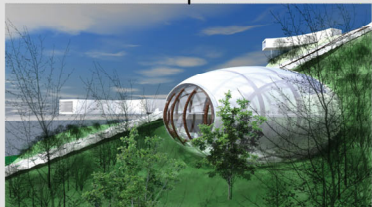
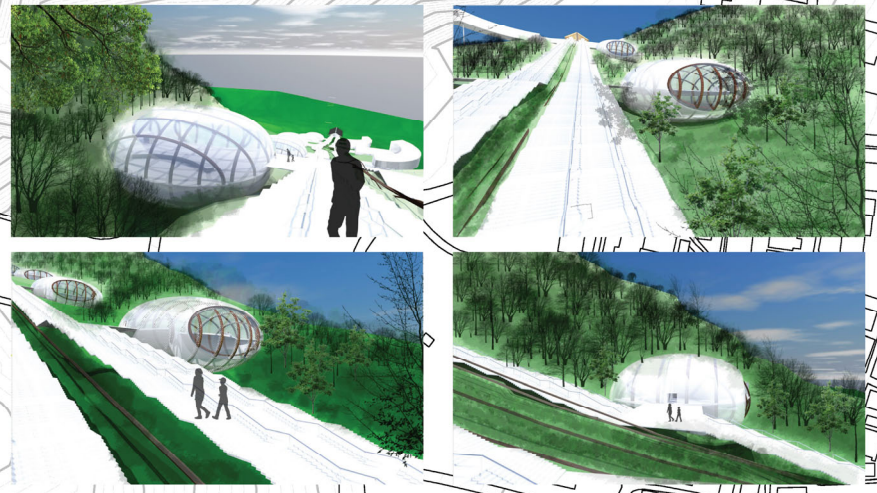
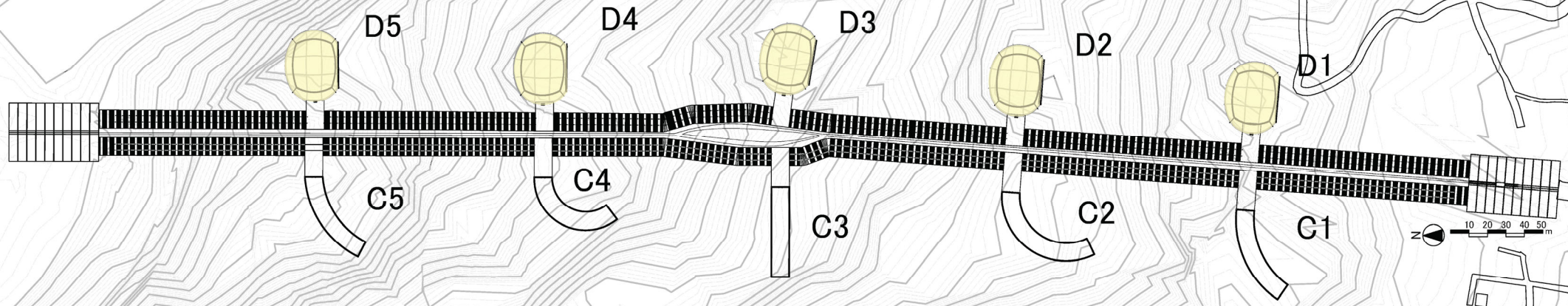
←山上駅 麓駅→



plan 1/300



D「食・休息・体験の空間」

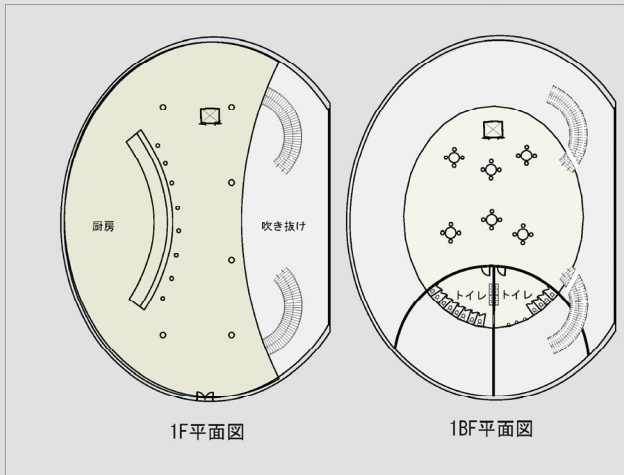
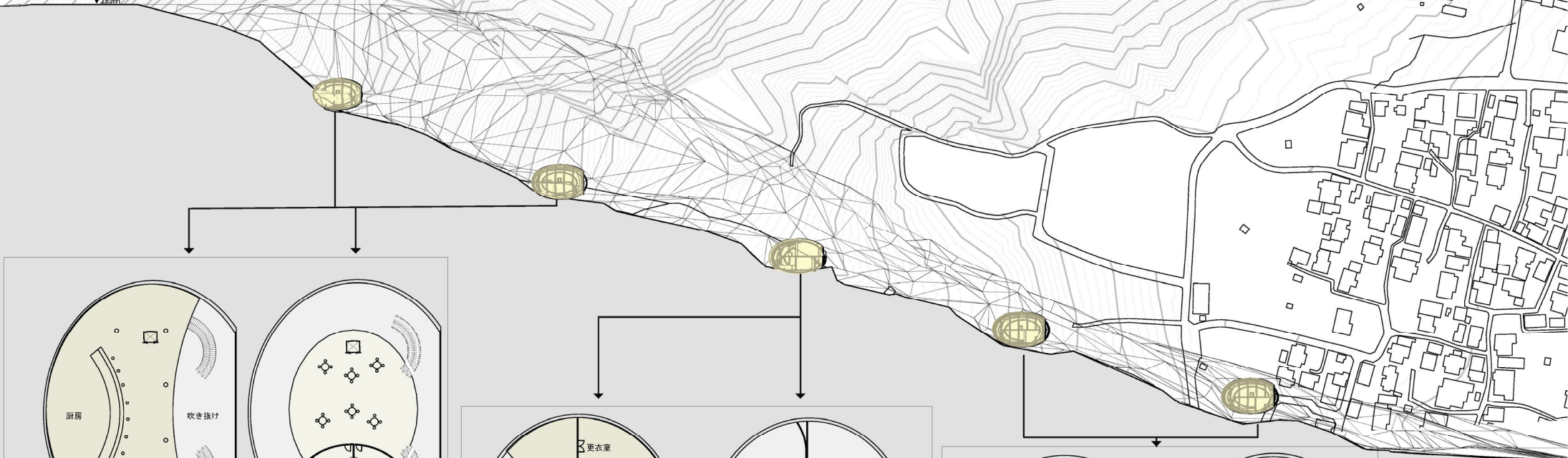
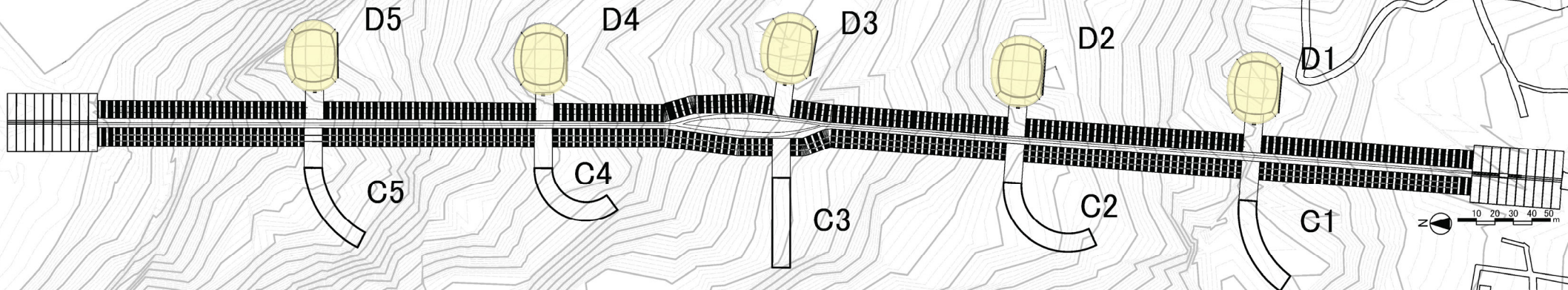


▼285m

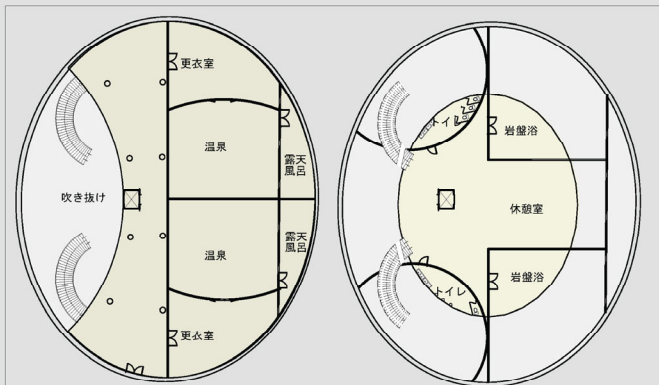
▲0m



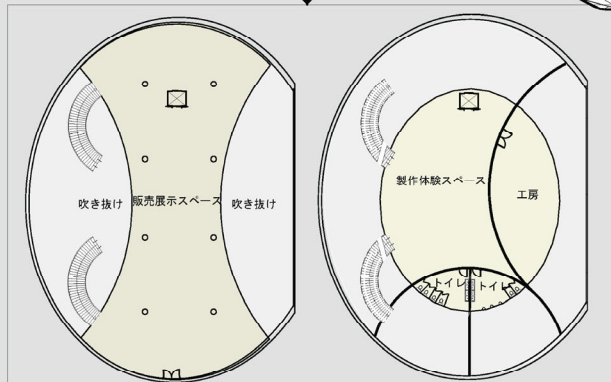
D「食・休息・体験の空間」



1/300 1 2 3 4 m



1/300 1 2 3 4 m



1/300 1 2 3 4 m

